

「気づき・考え・行動し、話し・伝える」児童の育成



大俣小2学期がスタート!!

44日間の夏休みが終わり、2学期が始まりました。2学期始業式の日には、元気に登校する姿が見られました。夏休み期間中、保護者や地域の皆様には、見守りなど、様々な面でお世話になりありがとうございました。今年度も阿波市内全小学校は、2学期最初の一週間は13時下校となっております。暑さ対策と、生活リズムを整え、元の学校生活に戻すための準備期間とするためです。

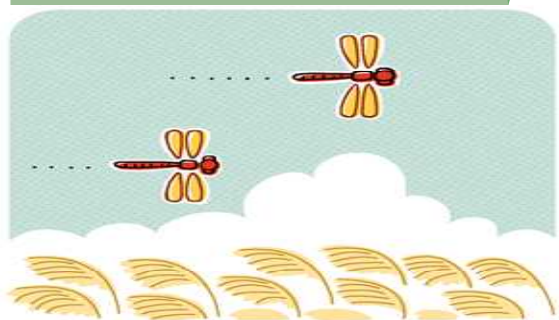
さて、子どもたち一人ひとりの表情を見ていると、それぞれに夏休みを元気に過ごせたのではないかと感じます。2学期は、修学旅行や遠足などの行事や生活科・総合的な学習の時間の体験活動などがたくさんあります。夏休みの間に挑戦したこと、学んだことを学校生活の様々な場面でいかしてほしいと思います。

また、2学期の防犯安全対策面ですが、阿波市のパトカー当て逃げ事件発生から約2ヶ月半がたっているとはいえ、引き続いて不審者等には気をつけながら、安全に登下校をしてもらいたいと思います。2学期の学校での学習活動も、児童が安心して学べ、充実した学校生活が送れるよう、教職員全員で努めてまいりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

9月1日は防災の日

夏休み期間中において、熊本や関東地方の地震、関東や北陸地方の大雨による水害、またネパール・中国での大規模な洪水など、予測ができない、想像を超えるような災害が各地で起こっています。

9月1日(火)、大俣小においても、地震を想定した避難訓練を、こども園と合同で行いました。残暑の残る中、全員が意識を高くもって、素早く行動することができました。自分や家族、そして他人(ひと)の命を守る行動を、いざという時にとれる子どもたちに育てていきたいと思います。ご家庭でも、避難経路などを、お子様とよく話し合っておいてください。



気になること、ありませんか？ 教育相談のご案内

人間関係づくりや生活のこと、学習のことなどで、困っていることはありませんか。

お子様について何か気掛かりな様子が見られた場合は、学級担任や特別支援コーディネーター、養護教諭等、相談しやすい教職員にご相談ください。必要であれば、スクールカウンセラー等にも相談することも可能です。また、徳島県立総合教育センター特別支援・相談課では、18歳までの幼児・児童・生徒、保護者の不安や悩みに対し、相談を受け付けています。不登校や引きこもり、学校もしくは家庭における問題、及び発達障がいを含む障がいのある子どもについての相談に応じていただけます。子どもたちの困り感を少しでも解消し、子どもたちをよりよく伸ばしていくために、お気軽にご相談ください。